

1 審議会名	令和5年度(第8期)第2回上田市上下水道審議会
2 日時	令和5年8月31日(木) 午前9時30分から午前11時30分まで
3 会場	染屋浄水場2階会議室
4 出席者	荒川委員、上野委員、内川委員、内堀委員、久保田委員、関口委員、竹内委員、塚原委員、橋詰委員、藤田委員、藤原委員、布施委員、堀内委員、宮尾委員、渡辺委員
5 市側出席者	堀内上下水道局長、緑川経営管理課長、堀内サービス課長、関上水道課長、小井土上水道担当政策幹、井出下水道課長、山越浄水管理センター所長、竹花所長補佐兼管理担当係長、杉浦丸子・武石上下水道課長、百瀬経理担当係長、下林課長補佐兼庶務係長、庶務係池内主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和5年9月6日
協議事項等	

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 染屋浄水場施設見学について

○出席者による染屋浄水場施設見学後、事務局より資料1に基づき染屋浄水場更新計画について説明

・委員からの意見・質疑応答は以下のとおり

(委員) 広域化とは関係ない更新計画なのか。

(事務局) この更新計画は、上田市単独経営の場合で考えているため費用を平準化している。広域化によって補助を受けれる場合、一部の工事を並行してできるため、少し工期が短くなるかもしれないと考えている。

(委員) 広域化しても他の事業体の施設も更新計画どおり進んでいくことでよいか。工事内容は変わらないということによいか。

(事務局) 広域化しても工事内容は変わらない。

(事務局) 各事業体で更新計画があるが、地域全体に投資するのか、特定の地域に投資するのかはこれから検討していく。

(2) 水道事業広域化について

○事務局より市民説明会資料、資料2に基づき水道事業広域化について説明

・委員からの意見・質疑応答は以下のとおり

(委員) 説明会の参加者が少ない。市民の意見を集約したものとは思えない。関心を持ってもらうために広報の方法を考えてほしい。水道、広域化の重要性を訴えてほしい。

上田市は上流域で長野市は下流域だが、地域格差については検討されているのか。

自分の家の水道料金を知らない人もいるため、水道に関心を持ってもらえるように広報してほしい。

(事務局) 広報誌やホームページ等で周知しているところだが、参加者がなかなか集まらない状況である。お越しいただくのが難しい方に向けて、最後の市民説明会の様子を行政チャンネルに掲載しようと考えている。また、市民説明会終了後には、現段階で市民にどの程度広域化について理解していただいているかを把握するため、アンケートを実施したいと考えている。来年度以降も随時市民説明会は実施していく予定である。その他にも広報について色々考えていきたい。

上流域と下流域の地域格差については、現段階では対等に投資していくと考えている。

広域化は、水道の値上げを抑制することも目的の一つであると考えている。

- (委員) 青木村、長和町、東御市等の上田市の周辺の自治体は今回の広域化に含まれないのか。
- (事務局) 長野県の計画では、青木村、長和町、東御市も広域化の検討に含まれているが、まずは5団体の検討が先行している(市民説明会資料14ページ)。今の段階では上田市の能力的に青木村も抱えることはできない。5団体が広域化して能力的に余裕ができれば、長野市や上田市の周辺自治体も広域化に含めていく。今は中核となる事業団の設立を目指している。
- (委員) 上田市の管路更新率は低く、全て管路を更新するためには年5kmで200年かかると説明してもらった(市民説明会資料17ページ)。給水人口は減っていくが、管路は今後も延長していかなければならない。短くなっていくことはない。広域化によって補助が受けれた場合、更新ペースが早くなるのか。漏水が増えていくようでは心配である。水道事業者も減っていくので、地域全体で管路更新率が上がる、管路の更新ペースが早くなるよう検討してほしい。
- (事務局) 広域化して地域全体で管路更新率を0.80%にすることを目標にしている(市民説明会資料13ページ)。地域全体で管路更新率を上げていくため、遅れているところから更新していくと考えている。水道事業者が減っていくことも認識しているところだが、官民で水道事業が維持できるようにしていきたい。
- (委員) 市民説明会の参加者が少ない。関心を持ってもらえるように考えてほしい。地域協議会でも説明しているが、自治会長から広域化についての話題が広がらない。ごみの問題では自治会単位で説明会を実施していた。自治会や団体に足を運んで関心を持ってもらえるようにしてほしい。
- (事務局) 長野市でも説明会を行っているが、同様に参加者が少ない現状である。関心の低さと周知の仕方に課題を感じている。多くの市民に関心を持ってもらえるように広報を考えていきたい。
- (委員) 関心が低い中、アンケートの実施は必要なのか。
- (事務局) アンケートを通して広域化について知ってもらい、関心を持ってもらうきっかけとしたい。
- (委員) 広報誌、LINE、メール、地域の回覧板で市政の情報を得ているが、委員の皆さんはどうすれば、どの媒体であれば周知できると考えますか。
- (委員) 局独自の広報誌を発行してはいいかがか。紙媒体がよいと考える。学校等の若い世代への説明も必要。自ら自治会等に入っていないと関心を持ってもらえない。水道事業の広域化が先行し、下水道の検討はどうなっているのか。下水道も含めて検討してほしい。
- (事務局) 若い世代も含めて、周知の仕方については検討していきたい。千曲川流域では下水道の広域化も見据えながら検討している。水道事業の広域化が先行しているため、同時に検討を進めるのは難しいと感じている。
- (委員) 坂城町の水道事業はどうなっているのか。
- (事務局) 坂城町は町内全体の100%を県営水道が給水している。千曲市は9割を県営水道が給水し、1割を市営水道が給水している。
- (委員) 数字等を用いて、広域化による上田市の具体的なメリットを示してほしい。市民説明会に参加した市民は理解できているのか。供給単価の差は水道料金ではいくら違うのか。
- (事務局) 一般家庭の口径12mmで5,400円から5,300円になる。今日の説明や市民説明会では、現時点での研究会の検討内容を説明している。これから検討していく中で、上田市の具体的なメリットを示していきたい。

4 その他

○事務局より次回審議会の開催は9月28日(木)午前9時30分から真田地域自治センター3階講堂で予定していること、9月10日(日)に南部処理場で下水道のイベントが開催されることを説明

(委員) 出欠報告や事前資料の送付をメールでできないか。

(事務局) 審議委員の状況やニーズに合わせて対応します。

5 閉会